

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	快適で潤いのある生活環境形成のための県立都市公園整備												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	鹿児島県												
計画の目標	県立都市公園の整備により、県民のスポーツ・レクリエーション活動の場の確保と快適で潤いのある生活環境の形成を図る。 また、公園施設長寿命化計画に基づき計画的に施設の維持管理や改築・更新を行い、公園施設の安全確保とトータルコストの低減を図るとともに、平成25年に策定した長寿命化計画の見直しを行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,617	A	1,604	B	0	C	13	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.8	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H31末
1	・県民における県立公園の年間利用回数を1.3回/年(H26)から1.4回/年(H31)に増加させる。 県立公園における公園利用者数から、県民1人当たり公園利用回数を算出する。 1人当たり公園利用回数=公園利用者数/都市計画人口	1回/年	回/年	1回/年
2	・平成31年度までに県立都市公園において公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新を行い、改築・更新が必要な公園施設の数を91箇所(H26末)から0箇所にする。 公園施設の改築・更新の状況をもとに算出する。 改築・更新を行う必要のある施設数	91箇所	箇所	0箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	—	—	都市公園事業(北薩広域公園)	102.3ha 園路, 広場, 親水護岸等	さつま町	■	■	■	■	■	1,360		—	
	A12-002	公園	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	—	—	都市公園事業(吹上浜海浜公園)	109.9ha 便所新築(1棟)	南さつま市	■					30		—	
	A12-003	公園	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	—	—	公園施設長寿命化対策支援事業	吉野公園等5公園における遊具施設の改築・更新	鹿児島市ほか				■	■	120		策定済	
	A12-004	公園	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	—	—	公園施設長寿命化計画策定	大隅広域公園等8公園における長寿命化計画の策定	鹿屋市ほか				■	■	60		—	
	A12-005	公園	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	—	—	都市公園事業(吹上浜海浜公園)	便所新築1棟	南さつま市					■	34		—	
											小計						1,604			
											合計						1,604			

C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																			
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	—	—	都市公園事業（北薩広域公園）	案内板・標識板整備事業	さつま町		■				13	—			
		都市公園事業(A12-001)と一体的に施設を整備し、公園利用者の利便性の向上を図る。																			
													小計						13		
													合計						13		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

- ・公園利用者の年間利用者数を調査する。
- ・公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新を行った公園施設数を調査する。

事後評価の実施時期

令和2年度

公表の方法

鹿児島県ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

公園施設の整備を行ったことにより、施設の安全性や利便性の向上が図られ、公園利用者数は平成30年度までは増加傾向であったものの、令和元年度以降は新型コロナウイルスの影響により減少した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新については、引き続き予算確保に努め、整備の推進を図りたい。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標①（公園利用回数の増加）	
	最終目標値	1回／年
2	最終実績値	1回／年
	指標②（改築・更新が必要な公園施設の減少）	
	最終目標値	0箇所
	最終実績値	83箇所
予算確保が困難であったため		

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	快適で潤いのある生活環境形成のための県立都市公園整備		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	鹿児島県

